

2021三浦半島統一メーデー式典を開催!

4月26日(月)18時30分から、2021三浦半島統一メーデー式典をヴェルクよこすか6階ホールにて(定員200名)にて、新型コロナウイルス感染防止対策(マスク・検温・消毒・3密回避)を万全に講じた上、収容人数の1/2以下となる70名参加のもと開催しました。また、来賓控室を別途会議室(定員100名)に設け、来賓(22名)の入場を区切り、挨拶する時にのみ会場に入るようにしました。

及川実行委員長の挨拶では『新型コロナウイルスへの感染が国内で確認されてからおおよそ1年が経過し、この間、様々な活動が制限されてきました。しかし、漫然と1年過ごしてきたわけではなく、どのように対策を取れば良いのか、どのような活動ならできるか、特に労働組合が大事にしているFace to faceでの活動の重要性を認識し新しい活動形態について検討してきました。新型コロナウイルス感染前の状況に戻る



ことは無いと考えていますので、何も活動しないではなく、新しい活動形態を常に考え、労働運動を盛り上げていきたいと思っております。今こそ働く者たちが結集し、一致団結して「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」の実現に向け活動を前進させなければなりません。』と団結を呼びかけました。

その後、4市1町首長・議員団・福祉団体など22名の来賓から挨拶を頂き、メーデースローガン・メーデー宣言を採択し、酒井実行委員長代行の閉会挨拶をはさみ、団結ガンバローで式典を終了しました。

尚、会場ではメーデーの意義を訴える、プラカード展示・コンテストや新型コロナウイルスの影響を受けて品行問題が深刻化する中、『フードライブ活動』や『タオル一本運動』を行いました。



今回のメーデー式典は参加者を大幅に絞りましたので、一人でも多くの組合員にメーデーを体験して頂くために4月29日よりインターネット開催を行います。パソコンからの閲覧は下記をクリックしてください。

<https://rengo.or.jp/mayday/miurahantou/>

スマートフォン等で閲覧する方は左👉QRコードからお願いします。

